



SUPER FORMULA NEXT 50

2022年8月22日

TEAM MUGEN

SUPER FORMULA レースレポート

#1 野尻、3位で今季6度目の表彰台

#15 笹原、渾身の走りで予選12位から7位入賞

2022年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第7戦 モビリティリゾートもてぎ
距離：4,801km×37Laps (177.637km) ※37Laps or 75min.
2022年8月20日(土) 天候：雨/路面：ウェット
2022年8月20日(土) 天候：雨/路面：ウェット

■予選 #1 野尻 4位 / #15 笹原 12位
■決勝 #1 野尻 3位 / #15 笹原 7位

【野尻選手】



第7戦が終了しました。金曜の専有走行はあまり良い走りではなかったため、予選に向け調整を施し、結果、Q1ではQ2への手応えを感じるまで改善されました。

Q2に向けアジャストをしたのですが、ほんの少しセッティングにズレが生じていたようです。また、コースイン時に混雑したゾーンに合流したことも、今予選での反省すべき点でしょう。決勝グリッド2列目4番手は、優勝も狙える位置ですので、今振り返れば悪くないポジションでしたね！

決勝ですが(スタート前の)グリッド上で急に雨が降ってきてしまい、全車が慌ててセット変更やタイヤ交換作業を行なっていて、メカニックたちは相当大変だったと思います。

結局、セーフティーカースタートから始まり、チェッカーを受けるまで雨のレースとなりました。予選の4番手から3位となり、2位をターゲットにブッシュしましたが、前車の跳ね上げた水のシャワーで前が見えず本当に怖かったです。

とにかく全神経を集中させて走り切りました。トップの車も少しタイムが落ちてきて僅差のバトルになるかとも思いましたが、2位の車に巧みにブロックされ、結果3位でレースを終えました。

最終目標のチャンピオンシップを考えれば悪い結果ではなく、しっかりポイントを積み重ねることもできました。でもやっぱり勝ちたかったですね！2日目は勝てるように頑張ります。応援してください。

【笹原 選手】

公式練習からQ1にかけて大幅に車が改善されたので、Q2への期待が膨らんでいました。予選で最後にコースインしたことで前の車との間隔を気にし過ぎて、残り時間がなくなってしまう、タイムアタックが出来ませんでした。残念な予選とはなりましたが、車の調子は良くなっていたので、気持ちを切り替えて決勝のセッティングに集中しました。



グリッドでスタート待ちをしている時に雨が降り始め、決勝は雨のレースとなりました。スタート直後から無難に順位をキープしつつ、数台をオーバーテイクし、途中脱落車両もあったおかげで12位から7位に順位を上げることができ、しっかりポイントを稼ぐこともできました。

レースは野尻さんも言っていますが、前の車を抜こうにもウォータスクリーンで前が見えず、とても厳しい状況でした。そんななかでも数台をオーバーテイクして順位を上げる事ができ、自分自身への自信につながりました。

明日行なわれる第8戦の予選とレースでは、今日の悔しさをバネに予選から全開で頑張ってリベンジします。雨のなか応援をしてくださり、本当にありがとうございました。

【田中監督】

野尻、笹原両選手とも、予選、決勝の車のパフォーマンスは高く、もっと上位での結果が狙えたと思います。

Q2ではオペレーションが悪く、最終的にその結果が決勝に大きく影響を与えました。特に笹原選手がQ2でアタックできなかったことは、チームとしてあってはならないことで、何より笹原選手に本当に申し訳なかったです。決勝のウェットの走りも良かったけどとても残念です。

同時に、野尻、笹原両選手とも気持ちを切り替えて決勝はできる限りの良いレースをしてくれたと思います。2日目の予選、決勝は今日以上のレースができるよう頑張りますので、引き続き応援をお願いします。









Honda Cars



無限 MUGEN

FORMULA SUPER NEXT 50

2022年8月22日

TEAM MUGEN

SUPER FORMULA レポート

#1 野尻、4位入賞でランキング首位を維持！

#15 笹原、圧巻の走り、最後尾スタートから8位入賞！

2022年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第8戦 モビリティリゾートもてぎ
距離：4,801km×37Laps (177.637km) ※37Laps or 75min.
2022年8月21日(日) 天候：曇り／路面：ドライ
2022年8月21日(日) 天候：晴れ／路面：ドライ

■予選 #1 野尻 3位 / #15 笹原 タイム抹消(21位)
■決勝 #1 野尻 4位 / #15 笹原 8位

【野尻選手】



第8戦の予選と決勝が終了しました。予選は3位となり、ターゲットのサッシャ選手が2位だったので、決勝の戦略をどうするか、セットアップ含めその攻略を課題として決勝に臨みました。結果4位でフィニッシュしました。

まずスタートがうまく行って、サッシャ選手を攻略できたのは良かったです。車の仕上がりも良くペースも序盤は良かったのですが、トップの大湯選手のペースが落ちてきたので、たまたま(タイヤ交換のためのピットインはこちらが先に動きましたね！

ピット作業もチームが素早く行い、トップだった大湯選手をアウトラップで攻略でき、さらにその後、抜かせない攻めもできました。結果的にはTEAM IMPULの2台に先行を許してしまいましたが、前日の第7戦の結果を受け、自分たちが今何をすべきなのか、また何を目標に闘うのかを明確にしてレースに臨むことが出来ました。

リスクを覚悟で(優勝したTEAM IMPULの)関口さんみたいに(タイヤ交換のためのピットインを)ミニマムの周回数で行うのもアリだとも思いましたが、対象とすべきターゲットを事前にチームと想定し、実際にその攻略の対象である(ランキング2位の)サッシャ選手に先行してゴール出来た事は評価に値すると思います。

もちろん勝ちたい気持ちもありましたが、耐えのレースに尽力しました。今日も暑いなか応援してくださった関係協力会社の皆様、ファンの皆様、次の鈴鹿でもタイトルを掛けて闘いますので、(引き続き)応援の方を宜しく願いたします。ありがとうございました。

【笹原 選手】

まさかと思うような予選のトラブルも、気持ちを切り替え決勝に臨みました。何も失うものはないという気持ちで頑張りました。

ところが決勝の8分前に駆動系のトラブルが出てしまい、決勝のセットアップの確認ができないままグリッドに並ぶこととなりました。ただエンジニアを信じていましたし、どのみち最後尾からのスタートで失うものは何もないので、その間ずっと冷静でいられました。それにトラブルを懸命に修復してくれたメカニックたちのことを思うと気合いも入りました。



スタートもうまく決まって5台を抜いて1周目に15位で帰ってこられました。その後、車の調子も良くチームの戦略も良かったので、アタックし続けて随所でライバルたちをオーバーテイクし、最後尾から8位という結果となりました。走行中応援してくれているファンの姿が目に入り、すごく励みになりました。そういった力も助けになり、自分としてはやり切った決勝となりました。

本当に皆様の応援やご協力に感謝しています。最終戦の鈴鹿では、必ず皆さんの応援に応えるようもっと頑張りますので、引き続きのご声援を宜しくお願いします。ありがとうございました。

【田中監督】

今日のレースは判断がとても難しい展開でした。そんななか野尻選手はシリーズポイントに重点を置いた戦略で、良いレースができたと思っています。スーパーフォーミュラのシリーズで常に上位の結果を出すことがいかに難しいかを理解しているだけに、今回の結果にはとても満足していますし、野尻選手も冷静に頑張ってくれたと思います。

笹原選手は予選中に車の部品にトラブルが発生して、予選を闘うことができませんでした。決勝前にもトラブルが発生しましたが、レースに集中し最後尾から、自身のスピードと戦略で幾度もオーバーテイクをして8位までポジションを上げてゴールをしてくれました。スピードのある素晴らしい内容のレースでした。やはり予選でのトラブルがなければと思ってしまいますし、笹原選手に申し訳なく思うばかりです。

次はいよいよ最終戦(2レース大会)です。野尻選手は確実にチャンピオンを獲得、笹原選手は速さを結果に出せるよう準備していきます。引き続き応援をお願いします。









Honda Cars